古代ロマンとこころのルーツ

松尾 留美
佐賀県

高校２年生のとき、ＮＨＫ『青年の主張』の中で、
手話で発表する同世代を見て感銘を受けた松尾留美さん。
「手話がしたいのですが、どうすればいいでしょうか？」と
市役所で尋ね、手話講習会に行ったのが始まりだという。
「あの行動力と情熱はどこから湧き出たのでしょうね」と、
はにかみながら懐かしそうに笑顔で語られます。

仕事や結婚で活動をお休みし、子育ても一段落したころ、
以前にお世話になった手話講習会の講師と再会したのが
きっかけで全通研に入会。
手話に魅せられた初心を再活動に込め、今に至る。
現在、全通研佐賀支部長として精力的に活動されています。

地域班学習会のみなさん

地域班学習会のようす

地域班学習会の後、松尾さんを囲んでの食事会

弥生時代の建物やくらしを再現した「吉野ヶ里歴史公園」。
「邪馬台国」は吉野ヶ里とする学説もあり、古代ロマンをかき立てられる。
魏志倭人伝に登場する日本のルーツである。

松尾さんの笑顔は穏やかで優しさにあふれている。
支部の中でも職場でも、その笑顔でみんなが癒される。
そんな心の繋がりが「愛」で、共助の愛の形が福祉ではないか。
松尾さんの笑顔から、ひとのこころのルーツを感じた。

佐賀県聴覚障害者サポートセンターにて

動く松尾さんが
見られます

https://youtu.be/K1cxmzEhY_k
Qrafterアプリで見られます

「がんばっている仲間を見ると良い刺激を受けます」
「活動を続けることで世界が広がります」
何事にも意欲的な松尾さん。
将来の夢は「地域で聞こえない人が相談しやすいような場所をつくること」
夢に向かって飛躍してほしい。

松尾さんは訪問入浴の看護師の仕事をされています。
重度の障害があるMさん宅に同行させていただきました。
１チーム３人。準備段階から見事な役割分担で、手際の良い
熟練されたチームプレーとスピードに圧倒された。
仕事をしながらも交わされるMさんとの笑顔に満ち満ちた
ユーモアいっぱいの会話。
Mさんもご家族にとっても、身体だけでなく
「こころのリフレッシュ」になっていると確信した。

写真/文　松本 博